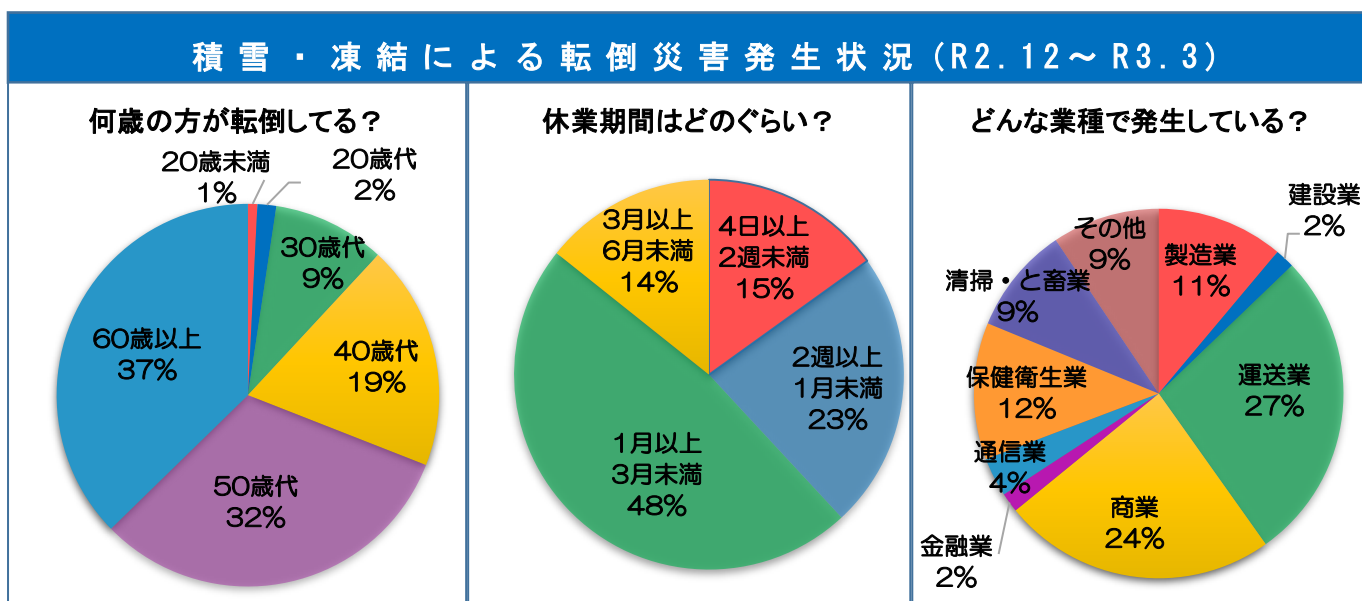
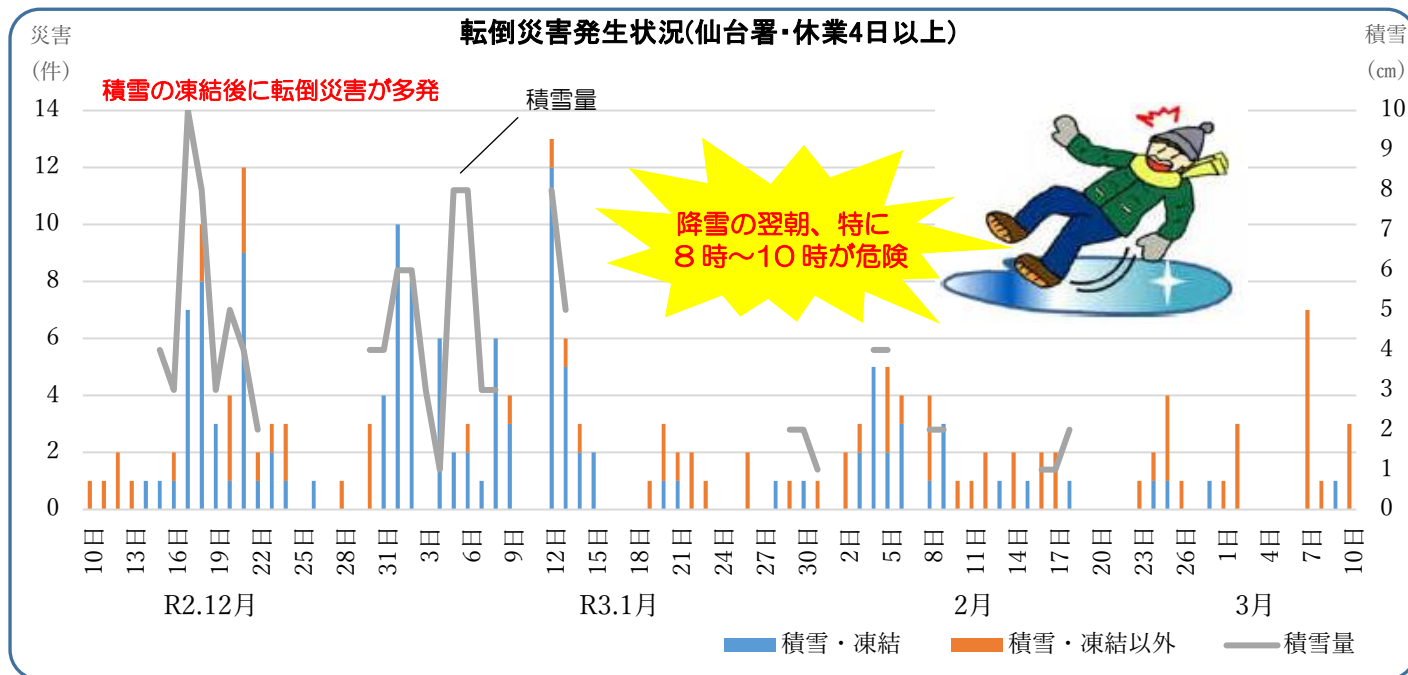


積雪・凍結による転倒災害を減らしましょう！

休業4日以上[※]の労働災害を事故の型（どの様な型で災害が起こったか）別に分類すると、**転倒災害**が最も多く（全労働災害の約3割を占める）、特に冬期には、**積雪・凍結を原因とする転倒災害が多発**する傾向にあります。

仙台労働基準監督署管内では令和2年12月～令和3年3月の期間に238件の転倒災害が発生し、内126件が積雪・凍結を原因とする災害でした。積雪・凍結による転倒災害の分析結果は下図のとおりです。

冬期間の積雪・凍結による転倒災害の防止対策について、裏面に留意の上、万全の取り組みをお願いします。



2月は転倒災害防止の重点取組期間です！



仙 台 労 働 基 準 監 督 署



◇安全委員会等における調査審議と職場巡視の実施

安全委員会等において、転倒災害防止についての現状と対策を調査審議し、労働者に周知しましょう。併せて、安全委員会の委員等による職場巡視を実施し、必要な改善や労働者の意識啓発を行いましょ。

◇気象情報の活用によるリスク低減の実施

- 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
- 警報・注意報発令時の対応マニュアル作成、労働者への周知
- 気象状況に応じた出張・作業計画等の見直し

◇通路・作業床の凍結等による危険防止の徹底

- 屋外通路や駐車場の除雪、融雪剤散布による安全通路の確保
- 事務所入室時における靴裏の雪・水分の除去、凍結のおそれのある屋内通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
- 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、労働者への周知
- 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法・作業方法の見直し
- 凍結路面や凍結のおそれがある場所（屋外通路や駐車場）での滑りにくい靴の着用勧奨
- 雪道や凍った路面上での歩き方の教育実施



凍結防止ヒートマット

◇一般的な転倒災害防止対策

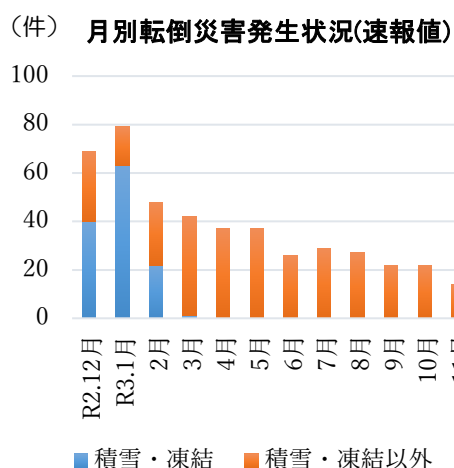
- 作業通路における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消
- 4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ等のほか台車等の障害物の除去
- 明るさ（照度）の確保、手すりや滑り止めの設置
- 危険箇所の表示等の危険の「見える化」の推進



見える化ステッカー

冬靴の耐滑性にはご注意を！！

水・油用の耐滑靴、氷上用の耐滑靴、粉体上の耐滑靴は、それぞれ対策が異なります。市販されている耐滑靴の多くは「水・油用」ですので、雪や氷の上では滑ることがあります。したがって、耐滑靴といえども、冬季の屋外使用では注意が必要となります。



厚生労働省 HP では転倒災害防止リーフレットのほか、転倒災害防止のための適切な靴の選定、転倒・腰痛予防体操動画、小売業、介護施設向けのリーフレット等も掲載しておりますので、これらを参考にしながら、皆さまの事業場に適した対策を導入してください。



厚生労働省と労働災害防止団体は、休業4日以上死傷災害で最も件数が多い転倒災害を減少させるため、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。



転倒災害の4割が60歳以上の労働者です。厚生労働省では「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を策定しています。

